

診療科
血液内科

疾患名
再発・難治性多発性骨髄腫

レジメ名
DBd療法(9コース以降)

投与間隔
1コース 4週間 計 コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日									
						day1	day2	day4	day5	day8	day9	day11	day12		
ダラザレックス	ダラツムマブ		16mg/kg/day	div	備考参照	●									
(デカドロン)	(デキサメタゾン)	DEX	20mg/body/day	div(注1)	15分	(●)	(▲)								

備考

- ・注1: 医師が必要と判断した場合のみ、day1(●)はデカドロン20mgのdiv、day2(▲)はレナデックスの経口投与を行う。75歳超またはBMI<18.5kg/m²例、control不良の糖尿病、steroidに対する忍容性がない、または有害事象を発現した方ではsteroid投与は省略可。
- ・infusion reactionを軽減させるために、本剤投与の1~3時間前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤、副腎皮質ステロイドホルモンを前投薬する。具体的には、1時間前までにカロナール1,000mgを内服し、デカドロン20mg+ポラミン5mgのdivを終了する(15分間で投薬後、1時間生食100mLのみとし、その後ダラザレックス)。
- ・気管支喘息や呼吸機能検査でFEV1.0<80%のCOPD例では、2日間はポラミンなど抗ヒスタミン剤の内服、短期間作用型β₂アドレナリン受容体作用薬の吸入および原疾患の治療(気管支喘息では吸入ステロイド±長時間作用型β₂アドレナリン受容体作用薬、COPDではスピリーバやアドエアなどの長時間作用型気管支拡張薬±吸入ステロイドの事後投与)が考慮される。

ボルテゾミブ使用法(静注か皮下注)により枝分かれレジメンある
380-4: 静注用、380-8: 皮下注用

登録年月日
2018年 2月 7日

登録No.
No. 380-4, 8